

1 家族防災会議を開きましょう

災害のとき、家族があわてずに行動できるように、実際に災害が発生したときのことを想定して、定期的に家族防災会議を開きましょう。

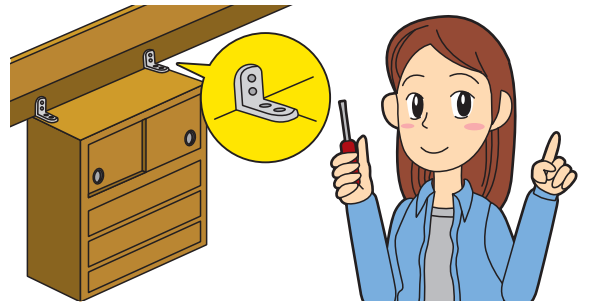
1 一人ひとりの役割分担を決めましょう

- 日常的な防災の役割と、災害が起こったときの役割を決めておきましょう。
- 高齢者や乳幼児がいる家庭では、誰が誰を助けるかも決めておきましょう。



2 家の危険箇所をチェックしましょう

- 家の内外に危険箇所がないかどうかをチェックしましょう。
- 危ない場所は、修理や補強について話し合しましょう。



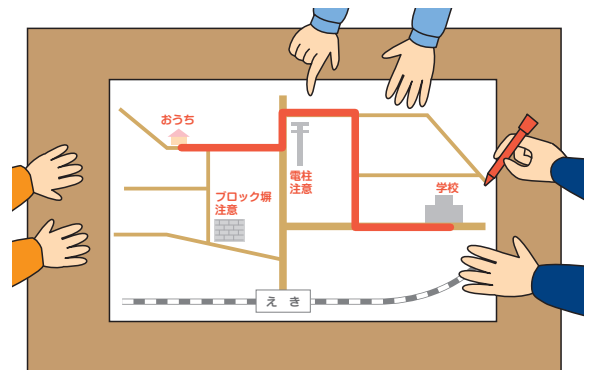
3 非常持出品・備蓄品をチェックしましょう

- 家族構成を考えながら、必要なものがそろっているか確認しましょう。
- 定期的に保存状態や使用期限を点検し、必要なら交換しましょう。



4 災害時の連絡方法や避難場所を確認しましょう

- 家族が離ればなれになったときの連絡方法や地域の避難場所を確認しましょう。
- 避難経路の危険箇所についても話し合い、休日などを利用して、みんなで下見をおきましょう。



5 隣近所で声を掛け合いましょう

- 災害の情報を入手したときや、避難情報が発表されたときは、隣近所でお互いに声を掛け合っていていざというときに備えましょう。

家族で防災について話し合みましょう

災害時には家族全員の協力が必要です。日ごろからの防災への取り組みが被害の軽減につながります。いつ起こるか分からない災害に備え、家族で防災について話し合いをしましょう。

家族で話し合い、チェックしてみましょう

CHECK 1 家族の安否確認の方法など

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 家族で非常時の連絡方法を話し合っていますか？ | <input type="checkbox"/> 避難場所や安全な避難経路を確認していますか？ |
| <input type="checkbox"/> 「災害伝言ダイヤル」「災害用伝言板」等の利用方法を
確認していますか？ | <input type="checkbox"/> 地震や津波など、自然災害に対する知識と避難方法
などを家族で話し合っていますか？ |

家族の連絡先は裏表紙に記載欄がありますので、話し合いのうえ、事前にきちんと記載しましょう。

CHECK 2 家庭内での食料・水等の備え

- 食料品や飲料水、日用品など、非常持出品・備蓄品を準備していますか？

非常持出品・備蓄品リストの詳細は6・7ページで紹介しています。きちんと準備しているかチェックしましょう。

CHECK 3 ご自宅や家の周りの安全性確認

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 家具や家電製品などの転倒防止対策
を行っていますか？ | <input type="checkbox"/> すぐに取り出せる場所に消火器を備えていますか？ |
| <input type="checkbox"/> 棚や家具の上から重いものが落ちてこないように
していますか？ | <input type="checkbox"/> ブロック塀など地震の際に倒壊のおそれがあるものの点検は
行っていますか？ |
| <input type="checkbox"/> 食器棚などの扉が開かないよう、飛び出し防止器具
を取り付けていますか？ | <input type="checkbox"/> ご自宅の耐震性を確認し、必要な場合、補強等
をしていますか？ |
| <input type="checkbox"/> 玄関などの出入り口に倒れやすいものや避難の障害
となるものは置いていませんか？ | |

CHECK 4 地域での備えや助け合い

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 普段から近所同士で助け合い、顔が見える関係
をつくっていますか？ | <input type="checkbox"/> ケガをしたときの応急手当の方法を
知っていますか？ |
| <input type="checkbox"/> 災害時の安否確認方法等について、地域で話
合われていますか？ | <input type="checkbox"/> 避難所の運営や住民の方の役割について、地域で
話し合いが行われていますか？ |

■いくつかチェックできましたか？

15問以上 災害への備えができています。その調子で続けていきましょう。

10問以上 もうひと頑張りです。確実に備えていきましょう。

5問以上 あなたと家族を守るためにもしっかり備えていきましょう。

■定期的に話し合おう

[話し合った日] ●下の枠に話し合った日付を記入しよう。

年	年	年	年	年
/	/	/	/	/

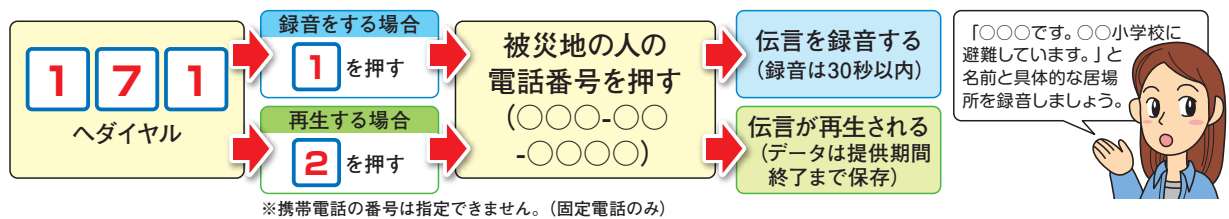
2 家族の安否確認

地震などの大規模な災害が起きたときには、多くの方が同時期に連絡を取り合おうとするため、電話がつながりにくい状況になります。そのような状況で連絡を取り合うために、事前に家族で話し合っって複数の安否確認手段を決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤル

災害発生後、家族や親戚などの安否を確認したい時、NTTの「災害用伝言ダイヤル」(171)があります。被災者の方が録音した安否情報などを、全国に設置された「災害用伝言ダイヤルセンター」を通じて確認することができます。インターネットを利用した「災害用伝言板」(web171)もあります。

録音／再生時のダイヤル方法 録音時間／1伝言 30秒以内



サービスの開始時期

- ◆震度6弱以上の地震の発生
- ◆災害発生等で電話が相当混み合っている時
- ◆警戒宣言後、状況に応じて(毎月1日と15日、正月三が日、防災週間、防災とボランティア週間には、24時間体験利用ができます)

サービスの概要

- ◆伝言保存期間 提供終了まで(体験利用の場合は体験利用期間終了まで)
- ◆録音時間1伝言 30秒以内(ひとつの電話番号あたり最大20伝言まで)※災害の状況により異なる
- ◆携帯電話・PHSからも利用できます(一部の事業者を除きます)

災害用伝言板

災害発生時(震度6弱以上の地震など)には、各携帯電話事業者が運用する「災害用伝言板」を使って安否情報を登録・確認することができます。それぞれの携帯電話の「トップメニュー」から「災害用伝言板」を選択してください。

※被災地の方のメッセージを検索する際は、全ての携帯電話会社で『全社一括検索』に対応しているため、相手方の携帯電話会社を気にする必要がありません。

災害用伝言板の使い方は各社のウェブサイトでご確認ください。

NTT ドコモ	http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster
au	http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/
ソフトバンクモバイル	http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/
ワイモバイル	http://www.ymobile.jp/service/dengon http://www.ymobile.jp/service/dengon_voice/

災害用伝言板体験デー

毎月1日と15日・正月三が日
「防災週間」(8/30～9/5)
「防災とボランティア週間」(1/15～1/21)

その他利用できる連絡方法

・公衆電話

大規模災害時には、公衆電話は一般回線よりも優先的に回線が確保され、被災地では無料で通話ができます。近年公衆電話の数が減っているため、普段から設置場所を確認しておきましょう。

・遠隔地の中継点

災害時であっても、被災地から被災地外への電話は比較的つながりやすい場合があります。被災地以外の親類や知人に中継地点となってもらい、連絡を取り合う方法も有効です。